

### 防犯啓発のために DVD寄贈式

7月27日(火)、㈱福重電工から、薩摩川内地区防犯協会へ防犯啓発用DVDの寄贈があり、寄贈品および感謝状の贈呈式が行われました。これは、永年、地域の安全安心活動に寄与されている代表取締役福重安治氏(写真右)の申し出によるもので、今後、市の防犯啓発活動に役立てていきます。



### 善意に感謝！災害救助基金へ寄附ありがとうございます

7月30日(金)、㈱宇都組、宇都組建栄会から創業65周年記念事業として、令和3年7月豪雨災害に係る被災者の支援のための災害救助基金へ多額の寄附をいただきました。今後、被災者への支援や被災地の復旧に役立てられます。



### さまざまな活動をしています！

平佐西の寄待、奥之園、城山自治会の青壮年部として活動している「火曜会」。20年以上続く寄奥城夏祭りをはじめ、地域を盛り上げるための幅広い活動を行っています。8月には川内駅コンベンションパークグランドオープンに合わせ、平成通り沿いの花壇を整備。花壇の中央に飾られているつや動物の置き物に、通行する子どもたちも喜んでいきます。



### 温かい願いが込められた贈り物

7月21日(水)、川内地区養鰻業振興協議会から、本市内児童養護施設(大村報徳学園、川内精舎、慈恵学園)へ、ウナギのかば焼き(真空パック)の寄贈がありました。この取り組みは、子どもたちに元気にたくましく成長してほしい、ウナギのおいしさを知ってほしいという願いを込めて、毎年7月の土用丑の日に行われています。



▲大村報徳学園 ▲贈られたウナギ

### 「令和3年度産ブドウ」本市への贈呈

7月30日(金)、薩摩川内市ぶどう部会の代表上原美代子氏(写真左)、紺屋裕之氏(写真右)から「令和3年度産ブドウ」の贈呈が行われました。本市のブドウは、県下2位の栽培面積を有し、増加傾向にあります。今年のブドウは着果や着色が良く、高糖度で酸味が少なく果実品質も大変良好とのことでした。



### 「川内駅コンベンションパーク」グランドオープン！

8月1日(日)、㈱薩摩川内が運営する「S CUBE HOTEL by SHIROYAMA」と㈱PBOOKMARKが運営する「ワンツリーコーヒー」・「サードコワーキングスペース」が開業し、先に開業したSSプラザせんだいを含めた川内駅コンベンションパークがグランドオープンしました。当日は、本市観光大使のAIさんのライブや、女優の松下奈緒さん、本市出身のジャズピアニスト松本圭使さんのコンサートがあり、グランドオープンに花を添えました。



# 認知症を知る

「その人らしく」生きていくために

認知症になって記憶は失うことがあっても、これまでの人生は失われません。これまで一生懸命生きてきた人生があっても、今があるのです。

認知症は、日常生活から「確かさ」と大事な記憶がなくなっていくって、忘れています。忘れてしまうのではない、周囲から何か言われるのではない、常に不安を抱えながら生活しています。同じ話を繰り返すのも、そのことを確かめることで安心を得たくて話をするのです。

また、認知症は高齢者だけのものではありません。18歳〜64歳までに発症する認知症を「若年性認知症」といい、働く世代が発症する認知症は、高齢者が発症する認知症とは、また違った課題があります。

記憶が、一つ一つなくなっていくなら、どれだけ不安でしょうか。認知症の方の立場に立ち、その世界を理解すること、「自分事」として考えることが大切です。



2025年には、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症になると推計されています。

そのような中、本市では、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で、生き生きと暮らし続けていくための取り組みを推進しています。

### 認知症予防・介護予防

高齢者ができる限りの在宅で、自立した日常生活を営むことができるよう、運動を中心に栄養、口腔機能向上、認知症予防の教室を実施します。

また、社会的孤立感の解消や心身の機能の維持向上を図ることで、高齢者の介護予防を行うミニ・デイサービスを開催しています。



### 認知症相談

#### 認知症カフェ

認知症の方やその家族を支える地域づくり、認知症に関する理解を促進し、誰もが気軽に集い、交流すること、互いに癒やし癒やされる場所です。どなたでも参加できます。

#### 家族介護者の会

##### よいやんせ

市内在住の方で、介護を受けている方、介護をされている方が、ご自分の体験や悩みを語り合う場です。認知症や身体介護など、さまざまな介護経験をしている方が参加されますので、同じ立場からアドバイスももらうことができます。

※開催場所や日時などは問い合わせください。



### 専門機関の相談窓口

認知症が気になったときは、まずはかかりつけ医にご相談ください。その他、左記の場所にご相談ください。問合先

【若年性認知症】認知症の方と家族の会鹿児島支部  
鹿児島市鴨池新町1-7(鹿児島県社会福祉センター内)  
099(251)4010

#### 認知症全般

薩摩川内市地域包括支援センター

永利町4107番地1(総合社会館内)  
099(24)3331

本庁高齢・介護福祉課包括支援G(内線2677)

認知症の方を支えるには、家族だけでは限界があります。その人がその人らしく生きていくためには、地域の方の協力も不可欠です。また、認知症になってきかないことが増えてくることもありますが、できることもまだまだあります。どうか皆さんも、認知症の方やそのご家族を温かく見守る「応援者」になってください。